

短時間で活用していただけるよう作成しています。学校の状況に応じて参考例としてご活用ください。推奨学年を示していますが、学校・クラス・地域の実態に合わせて柔軟に活用してください。

学習例 新型コロナウイルス感染症に伴う人権について考えよう 「体調がわるい友達がいたら」

推奨学年 小学生（低学年）（中学年）

ねらい

- ・どのような言動が差別になるのかを理解する。
- ・差別的言動の問題点を指摘する方法やいじめや差別をなくす（引き起こさない）行動について考える。
- ・各学校の新しい生活様式について再確認する。

留意点

- ・発熱した児童生徒、当事者や濃厚接触者、その家族となっている児童生徒への配慮を行う。

進め方

（○ 教師の働きかけ ・ 予想される児童生徒の反応）

流れ	展開と内容
導入	○役割分担をして、【資料1】を読んでみましょう (3~4人で組になる方法もある)
展開	<p>○ もし、あなたが【資料1】の「わたし」なら、それぞれにどんなことを言いますか</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしさん、体の調子がよくないの。大丈夫？ ・ひろしさん、すぐに保健室に行った方がいいよ ・ひろしさん、せきが出るなら マスクをしたほうがいいよ ・あきこさん、ひろしさんは、せきが出て、頭が痛いけど、コロナにかかっているかわからないよ ・あきこさん、ひろしさんにそんなこと言ったらだめだよ </div> <p>※ひろしさんとあきこさんの様子や会話の内容を、授業者がわかりやすく板書しながら整理してまとめていく ※授業者は児童生徒の意見を取り上げる中で以下の点についてまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・感染を防ぐためにも咳エチケット（マスクを着用する、ハンカチ等で覆う等）が大切であること ・少しでも体調が悪いときはすぐに保健室に行った方がいいこと ・咳をしながら頭が痛いからといって、コロナにかかっていると決めつけてはいけないということ <p style="text-align: right;">等</p> </div>
まとめ	<p>○教師の説話</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>体の調子が悪いと感じたら、無理をしないで、家族や先生に伝えようね。友達同士、体はくっつきすぎないようにするけれど、仲良くする気持ちは今までどおりだね。これからは、休み時間でも話をする時には、マスクをするように、お互いに優しく声をかけ合えるといいね。相手の気持ちを考えて行動することが大切だね</p> </div> <p>※学校における新しい生活様式は、お互いに思いやる気持ちが大切だということを児童生徒と再確認する (保健室の使い方、トイレの使い方、給食の取り方、授業中のルール 等について)</p> <p>○わかったことを書いてみましょう</p>

短時間で活用していただけるよう作成しています。学校の状況に応じて参考例としてご活用ください。推奨学年を示していますが、学校・クラス・地域の実態に合わせて柔軟に活用してください。

【資料 1】

ひろしさん、あきこさん、わたしの 3人で ひるやすみに はなしをしていた時のことです。

あきこさん、わたしは、^{ますく}マスクをしていましたが、ひろしさんは、^{ますく}マスクをしていませんでした。ひろしさんが、きゆうに せきをしました。

ひろしさん 「あたまがいたいので、ほけんしつに いきたいな」

あきこさん 「ひろしさんは ^{ころな}コロナにかかっているから せきもでるし あたまもいたくなるんじゃないのかな」

わたし 「ooooooooooooooooooooo・・・」

ワークシート「^{たいちょう}体調がわるい^{ともだち}友達がいたら」

1 もし、あなたが【資料1】の「わたし」なら、ひろしさんとあきこさんに どんなことをいいますか。

ひろしさん



あきこさん



2 わかったことを かいてみましょう。

Blank rounded rectangular box for writing answers.